



鳴らない自動火災報知設備 - 西日本防災システム

2014 06 03

東京女子医大で28年間、自動火災報知設備が鳴動しない状態になっていたことが医大関係者への取材でわかったそうです。？ 火災報知機の誤報をきっかけに、歴代の防災担当者が鳴らない設定にしていたようです。3年前に火災が発生し、発覚するまで医大は放置していたようです。2011年9月7日 医大中央校舎8階の実験準備室から出火し、東京消防庁が消し止める**火災**がありました。複数の医大関係者によりますと、この火災時、自動火災報知設備の地区音響装置が作動しなかったようです。医大が調査したところ、他の校舎や入院患者がいる病棟など約30棟の全施設で、施設ごとに鳴る仕組みの警報がいずれも鳴らない状態だったことが判明したようです。医大病院側から「たびたび誤って鳴って、うるさい」と苦情が出て、**1983年4月以降**防災担当職員が鳴らない設定にし、その後も歴代の担当者が「申し送り」で引き継いでいたようです。

規模から想像しますと ベルではなく非常放送の音声警報？

情報元朝日新聞



西日本防災システム

NISHINIHON BOHSAI SYSTEM Co., Ltd

<http://www.nbs119.co.jp/>



弊社top pageへ

